

# 平成21年度海洋関連施策(概算要求)の概要

## 海洋を利用する

### 安定的な海上輸送の確保

- 日本籍船・日本人船員の増加を図るための総合対策  
332百万円(250百万円)  
(国土交通省)
- 国際海上輸送網の拠点となるスーパー中枢港湾の整備  
73,761百万円(60,217百万円)  
(国土交通省)

### 水産業の経営体質強化

- 水産業における燃油高騰への緊急対策  
22,000百万円【新規】  
(農林水産省)
- 漁船漁業構造改革総合対策  
26,000百万円(5,000百万円)  
(農林水産省)

## 海洋を知る

### エネルギー・鉱物資源開発の推進

- 三次元物理探査船等による石油・天然ガス賦存状況の調査  
17,275百万円(15,163百万円)  
(経済産業省)
- 海底熱水鉱床の開発に向けた採鉱技術、環境影響予測手法等の調査  
1,000百万円(500百万円)  
(経済産業省)
- メタンハイドレートの生産技術開発  
4,526百万円(2,533百万円)  
(経済産業省)

### 海洋調査・観測の推進

- 深海地球ドリリング計画、次世代深海探査技術の開発等の推進  
46,488百万円(38,760百万円)  
(文部科学省)
- 地震・津波観測監視システムの構築  
3,081百万円(1,406百万円)  
(文部科学省)
- 海洋資源の利用促進に向けた基盤ツール開発プログラム  
800百万円(400百万円)  
(文部科学省)
- 地球温暖化に関する海洋観測・監視体制の強化  
673百万円【新規】  
(国土交通省)
- 我が国周辺の海底地形・地殻構造等の調査  
1,980百万円(1,338百万円)  
(国土交通省)

要求・要望額:2兆29億円(1兆7,850億円)

( )内はH20予算額

## 海洋を守る

### 海上の安全・治安の確保

- 海上の安全、治安の確保のための巡視船艇・航空機等の緊急整備  
40,329百万円(39,458百万円)  
(国土交通省)
- AIS(船舶自動識別装置)を活用した海上交通センター機能の強化等  
6,128百万円(5,278百万円)  
(国土交通省)
- 適切な海上防衛力を整備・維持するための、艦艇・航空機の取得等  
200,438百万円【H25年度までの後年度負担額を含む】  
(防衛省)

### 離島の保全

- 離島の交通手段の維持・改善  
6,842百万円(4,254百万円)  
(国土交通省)

### 海洋環境の保全

- 漂流・漂着ゴミや流木の処理に対する支援及び削減方策の調査  
558百万円(550百万円)(※)  
(農林水産省、国土交通省、環境省)
- 藻場・干潟等における漁業者を中心とした環境・生態系保全活動への支援  
1,210百万円【新規】  
(農林水産省)
- 船舶の省エネルギー化による環境負荷低減  
5,824百万円(4,271百万円)(※)  
(国土交通省)

### 大陸棚限界画定の推進

- 大陸棚延長申請審査への対応  
25百万円(5百万円)(※)  
(内閣官房、外務省、経済産業省、国土交通省)

## 国際協力

### 海洋に関する国際的な連携の確保

- 北西太平洋における海洋環境保全のための協力  
184百万円(143百万円)  
(外務省、環境省)

### 国際社会に対する海洋分野での我が国の積極的な貢献

- マラッカ・シンガポール海峡安全確保に必要な協力  
127百万円(61百万円)  
(外務省、国土交通省)

【注】(※)の額には、当該施策分を特定できない予算を含まない。